

令和4年度 学校経営計画

杉並区立沓掛小学校

校長 浅見 優子

地域の自然や伝統・文化を尊重し、家庭・地域との連携を深め、思いやりがあり、心豊かでたくましい、未来を拓く人材を育成していきます。また、杉並区教育ビジョン 2022 に基づき、「学び合い、信頼をつくり、共に生きる」「ちがいを認め合い、自分らしく生きる」「誰もが社会の創り手として生きる」ことを大切に、教育に取り組んでいきます。

1 目指す学校

子供たちの「笑顔」と「夢」があふれる学校

レジリエンスを鍛え、しなやかにたくましく成長する学校

【安心できる居場所となる学校】 【明日が楽しみになる学校】 【ありがとうでいっぱい为学校】

2 教育目標

『未来を拓く』 夢や希望をもって人生を切り拓いていこうとする児童

○元気 心身ともに健康で、最後までやり遂げる児童

○やさしさ ちがいを認め合い、自分らしく生きる児童

◎かがやく瞳 学び合い、信頼をつくり、共に生きる児童

目指す子供の姿

目指す教職員の姿

【心身ともに健康で、最後までやり遂げる児童】

- ・休み時間は積極的に外遊びを行う。
- ・体力向上に意欲的に取り組む。
- ・自己の目標を決め、最後までやり遂げる。

【ちがいを認め合い、自分らしく生きる児童】

- ・相手の立場を考え、行動する。
- ・いじめはしない、見過ごさない。

【学び合い、信頼をつくり、共に生きる児童】

- ・主体的に自分を表現する。
- ・学習課題をつかみ、既習事項を活かして共に解決しようと努力する。
- ・自分の得意を伸ばし、苦手挑戦する。
- ・将来に向かって、学び続ける。

【居心地の良い学級づくりをする教師】

- ・命を大切にする心と規範意識を育てる。
- ・体験活動を充実させ、他者と協働する力や思いやり等の人間性を育む。

【常に学び合いよりよい授業を目指す教師】

- ・意図的、計画的な授業を行う。
- ・教材研究や校内研究を充実させ、児童に学ぶ楽しさや、学び方を習得させ、児童の自信と意欲を育む。
- ・常に子どもの姿による授業評価や授業改善を行う。

【常に子どもと共に活動する教師】

- ・子どもと共に過ごす時間を確保する。
- ・心身の健康に努める。
- ・自己の課題の克服に向けて努力する。

3 中期的目標と方策

『未来を拓く』

学び方やものの考え方を身につけ、問題解決や探究活動、体験的な活動に主体的・協働的に取り組む姿勢を育む。

(1)「元気 心身ともに健康で、最後までやり遂げる児童」関連

- ①移動教室・遠足・社会科見学などを通して、自然に親しみ、体験活動や規律ある生活、集団活動を経験させ、たくましい心と体を育てる。
- ②地域協力者の支援を得ながら、地元の自然・文化・施設を活用し、自然愛護、地域の一員としての自覚、人との触れ合いを大切に作る心などを育む。
・運動する楽しさや協調性 ・トライやる

(2)「やさしさ ちがいを認め合い、自分らしく生きる児童」関連

- ①人との違いや良さを認め、人を思いやる心情を育てる。
- ②児童が多様な価値に気付くために、教育活動全体を通して道徳的実践の充実を図る。
- ③思いやりの心やリーダー性を育成するために、異年齢集団の活動を意図的・計画的に行う。
- ④教職員が児童に対して丁寧な言葉で話すことにより、言語環境の整備に努め、児童の人権意識・人権感覚を高める。

(3)「かがやく瞳 学び合い、信頼をつくり、共に生きる児童」関連

- ①一人一人の児童の実態を的確に把握し、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善を行い、教員同士が学び合い、授業の質を高める。
- ②問題解決的な学習や体験的な学習を積極的に取り入れ、児童の思考力・判断力・表現力を育成する。
- ③ICT 機器を最大限活用することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図る。
- ④保護者と連携し、学習習慣の確立を図る。
- ⑤言語活動を充実させる。

4 今年度の重点目標と方策

(1)健やかな体の育成

- ①新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、体育の授業や体育朝会、体育的行事、中休み等の外遊びの奨励、運動に親しむ態度を養い、体力の向上に努めます。また、教員も、できるだけ休み時間は子供と一緒に遊べるように努めます。
- ②栄養士による給食指導や食に関する指導・取組を通して、感染症対策を徹底するとともに、正しい食事のルールやマナーを徹底します。
- ③食物アレルギーへの適切な対応を徹底します。
- ④安全指導や避難訓練、各学年の防災訓練（煙体験、起震車、着衣泳、AED 体験）等を通して、自助・共助の意識や態度を育みます。

(2)豊かな心の育成

- ①児童が、友達のよさを認め、互いに思いやりの言葉をかけ合えるような指導を行います。そのために、私たち教職員も子供たちのよさを褒め、励ますことを心がけます。
- ②9月の「いじめ防止重点月間」や年3回の「ふれあい月間」に行うアンケート調査、都のスクールカウン

セラーを活用し、子供たちの様子を把握し、いじめや不登校などの諸課題の未然防止、早期発見・対応・解決に向けて取り組みます。

- ③授業のユニバーサルデザイン化を進めるとともに、くっかけ教室を活用し、一人一人の子供のよさを伸ばし、個に応じた指導・特別支援教育を推進します。

(3)確かな学力の育成

- ①指導計画に則った意図的、計画的な授業を行うとともに、授業時数の管理を適切に行います。
- ②ICT 機器を有効に活用し、効果的な授業や家庭学習を実現します。
- ③教員は、お互いに授業を参観したり、OJT 研修を行ったりして、指導力の向上に努めます。
- ④全学年で習熟度別算数指導を効果的に実施し、個に応じた指導、自ら考える授業を行い、子供たちに考える楽しさを味わわせ、思考力を高めます。
- ⑤ALT や理科授業支援員、図書司書等、様々な方々と連携を図り、授業の質を高めていきます。
- ⑥沓掛のきまり・やくそくを徹底し、学習規律や学習習慣を確立します。
- ⑦学校行事は、日頃の学習の成果を発表する場とします。行事に向けた指導は、指導時間・内容を十分吟味し、計画的・継続的に行います。
- ⑧校内研究では「社会科・生活科」に取り組み、子供たちに考える楽しさを味わわせ、表現力を高めます。

(4)特色ある教育活動

- ①読書活動 ②キャリア教育 ③日本の伝統文化理解教育 ④ICT と情報教育 ⑤吹奏楽

(5)保護者・地域との連携

- ①保護者や地域の協力者の支援を得て、校外学習や地域学習を推進します。
- ・ふれあいフライデー ・夢企画
- ②各種たよりやホームページ等を活用することにより、積極的かつ安定的に情報発信し、地域に開かれた学校を創ります。
- ・ホームページは、各学年が子供の様子を月2回以上発信します。
- ③学校運営協議 CS や学校評価アンケートの意見を真摯に受け止め、教育活動の改善・充実を図ります。
- ④学童クラブとの連携を図り、児童の健全育成に努めます。

(6)働き方改革の推進

- ①週に1日は定時退勤日を設定します。また、午後の出張は帰校しないように努めます。
- ②「Something New」を常に心がけ、前年度の課題、今年度の工夫、起案者の思いを教育活動の改善に活かします。
- ③保護者が記入する様式などはできるだけホームページに公開するなど、デジタル化を推進します。

(7)70周年に向けて

- ①令和5年度に迎える開校70周年に向け、保護者・地域、同窓生の協力を得ながら、準備を進めます。
- ②各種たよりやホームページ等を活用し、沓掛小の地域や歴史について発信していきます。

(8)その他

- ①校内OJTを推進します。
- ・主幹教諭は、主任教諭のOJTを行い、主任教諭を学校運営に生かします。

- ・主任教諭は、学校運営への積極的な参画、若手教員の育成、主幹教諭の補佐を行います。

②サービスの厳正

- ・信頼される学校づくりのために教職員一人一人が教育公務員としての自覚と高い倫理観をもち、サービスの厳正に努めます。体罰は絶対に行いません。
- ・ICTを活用し、無駄を省き、教育効果を常に検証します。
- ・学校予算は、計画的かつ効果的に執行します。

5 終わりに

新型コロナウイルス感染症対応のため、これまでの教育活動を見直さなければならない今は、学校にとって大きなピンチです。ですが、見方を変えれば、学校が大きく変わるチャンスでもあります。ストレスをプラスの力に変える力、「レジリエンス」を鍛えることでこのピンチをチャンスに変えていきたいと考えています。

レジリエンスとは回復力、弾力性、しなやかさを意味する英単語です。もともとは物体の弾性を表す言葉ですが、それが心の回復力や精神的な強さを説明するものとして使われるようになりました。つまりレジリエンスとは困難にぶつかっても、しなやかに回復し、乗り越える力です。この力を鍛えれば、逆境や困難から素早く立ち直る力、打たれ強さを身に付けることができ、さらなる成長を目指すこともできます。

そもそもストレスというと、悪いイメージをもつ人が多いのではないのでしょうか。けれどもストレスを克服することで成長することができたという経験をもつ人も多いと思います。物事のとらえ方や、自分の心のもち方を変えることで、ストレスをプラスの力に変えることができるのです。レジリエンスを鍛えることで、ストレスを成長のためのチャンスと捉えられるようになり、自身の成長を加速させることができます。

ではレジリエンスの鍛え方いくつか紹介します。

(1)自分の思考の傾向を理解し、感情をコントロールする

自分が陥る思考の癖はありませんか。思考の癖により、自分自身を苦しめてしまうこともあります。思考の癖から自分を解放し、心の健康を保つことを心掛けましょう。

(2)自尊感情を高める

自尊感情とは、ありのままの自分を受け入れ、自分には価値があると感じることだと考えます。他人と比較して自分を評価するのではなく、自分の長所・短所を含めて、ありのままの自分を受け入れることが自尊感情を高めます。短所も、裏返してみれば長所にもなります。自分の短所を長所に言い換えて、短所も含めたありのままの自分を受け入れてみましょう。

人が生活する上で、大なり小なりのストレスを感じることは当然のことです。生活環境の変化に不安を感じることもあるでしょう。頑張っても乗り越えられない困難が降ってくるかもしれません。目標を達成してしまったため、次の目標が見つからないといったこともストレスの1つです。こうしたストレスが降りかかったときには、「レジリエンス」という言葉を思い出し、しなやかに、たくましく、ストレスをプラスの力に変えていってください。

結びに、レジリエンスが高い人の特徴をご紹介します。

- ・考え方が多様
- ・気持ちの切り替えがうまい
- ・自分にも人にも優しい
- ・周りの人と協力関係を築ける
- ・チャレンジを続ける
- ・自分の良い面を認識している
- ・失敗しても、それを糧に成長することができる
- ・ありのままの自分を受け入れている
- ・他人と自分を安易に比較しない

失敗したらやり直せば良い。道を間違えたら戻ってくればよい。ストレスを糧に、しなやかに、たくましく成長する沓掛小の子供たちの頑張りを全力で応援していきます。